

令和4年度 事業報告

【事業報告の概要】

地域社会では社会的孤立や貧困、格差、虐待などの深刻な課題があります。これらの課題の背景には、住民相互のつながりの希薄化や家族形態の変容等があるとされています。

更に、新型コロナウイルス感染症の影響により、私たちの生活様式は大きく変化し、収入の減少や不安定な雇用情勢などにより生活に困難を抱える住民が急増したほか、これまで地域で展開されていたボランティア活動や支え合い・助け合いの活動が中止を余儀なくされるなどにより、多くの住民が生活に不安を強いられる状況となりました。

大垣市社会福祉協議会（以下「本会」という。）では、このような状況の下、国が提唱する「地域共生社会」や「持続可能な開発目標（SDGs）」を目指し、令和元年度に策定した「第4次地域福祉活動計画（みんなでいいまちつくろうよ）」の基本理念である“住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり”の構築を目指し、20地区社会福祉推進協議会をはじめとした行政・関係機関・団体との連携を密にして地域福祉の推進に取組みました。また、第5次計画の策定に向けて、第4次計画の実施事業を振り返り、住民の皆さんの意見を徴集する機会を設けて、準備を進めました。

また、地域福祉事業、地域包括支援センター、障害者生活及び就労支援センター、日常生活自立支援事業、生活困窮者等自立支援事業、認知症初期集中支援事業等がワンチームとなり、本人・世帯の属性にかかわらず受け止める、「地域のふくし相談課」を創設し、包括的・重層的相談支援体制の構築を進めました。更に、多様な組織・関係者と連携・協働（多機関協働）を強化し、アウトリーチ等を通じた継続的支援を進めました。

併せて、在宅介護サービス等については、厳しい経営状況の中、さらに新型コロナウイルスへの対応も必要となり、市民の信頼に応えつつ、職員と利用者の健康と安全を確保し、必要な福祉サービスの提供を持続するため、新型コロナウイルス感染症の予防を徹底し、利用者様の生活の安定を図り、その方が望む生活を営むための適切で質の高いサービスを提供できるよう事業を実施しました。

そして、「持続可能な開発目標（SDGs）」を推進する組織として、8月11日に開催した大垣市社会福祉大会において、「SDGs宣言」を公表したほか、サンメッセ株式会社と「SDGs連携と協力に関する包括協定」を締結し、新たな取組みのスタートとしました。その一環で、ファンドレイジング（活動のための資金を個人、法人から集める行為）による子育て応援事業として「ホテルの美味しいカツカレーを食べよう」企画を実施しました。

コロナ禍の“新しい日常”は、様々な苦難や停滞を生み出しましたが、同時に新たな挑戦や改革に着手し、前進するチャンスであると捉えています。この一年間で学び、考え、実践してきたことを、しっかりと今後の社協活動に活かし、市民の皆様、地区社協、自治会、各種団体、行政と協働し、「オール大垣市社協」で、地域福祉の未来に繋げて行きたいと考えております。

【使命・経営理念への取り組み】

「基本方針」を柱として4つの使命・経営理念の実現への取り組み。

- (1) 住民参加・協働による福祉社会の実現を図りました。
- (2) 地域における利用者本位の福祉サービスの実現を図りました。
- (3) 地域に根ざした総合的な支援体制の実現を図りました。
- (4) 地域の福祉ニーズに基づく先駆的な取り組みへのたゆみない挑戦を図りました。

【重点目標への取り組み】

市社協「使命・経営理念」の実現に向けて、6つの重点目標を掲げ、その目標の達成への取り組みました。

- (1) 社協基盤の強化の推進を図り、安定した財政基盤の確立に努めました。
- (2) 福祉のまちづくりの推進を図り、地域福祉活動の活性化に努めました。
- (3) ボランティア・市民活動の推進を図り、ボランティアセンター機能の充実に努めました。
- (4) 福祉教育、啓発・交流の推進を図り、ともに生きる地域社会の実現を目指しました。
- (5) 情報提供・相談体制、福祉課題の把握の推進を図り、総合的な相談体制の充実に努めました。
- (6) 在宅福祉サービスの推進を図り、質の高いサービスの提供に努めました。

大垣市社会福祉協議会のSDGs宣言 10の目指すゴール



1 総務部会

(1) 組織機能

ア 理事会、評議員会、専門部会の活性化

法人組織体制の強化を図るため、理事会、評議員会、専門部会、特別委員会（訪問看護ステーション運営・専門委員会）等を開催しました。

【会議の開催状況】

名 称	日 付	主 な 内 容
理事会	R04.06.8	1. 令和3年度 事業報告の承認について 2. 令和3年度 収支決算の承認について 3. 令和4年度 第1次収支補正予算について 4. 評議員候補者の推薦について 5. 理事候補者の推薦について 6. 令和5年度 共同募金配分事業の申請について 7. 就業規則の一部改正について 8. 経理規程の一部改正について 9. 令和4年度 定時評議員会の招集について 10. 会長及び常務理事の職務執行状況について
	R04.06.29	1. 副会長の選定（補充）について
	R05.03.15	1. 令和4年度 第2次収支補正予算について 2. 令和5年度 事業計画について 3. 令和5年度 収支予算について 4. 評議員候補者の推薦について 5. 理事候補者の推薦について 6. 施設長他重要な職員の任免について 7. 役員等賠償責任保険契約について 8. 令和4年度第2回評議員会の招集について 9. 会長及び常務理事の職務執行状況について
評議員会	R04.06.27	1. 令和3年度 事業報告の承認について 2. 令和3年度 収支決算の承認について 3. 令和4年度 第1次収支補正予算について 4. 理事の選任について
	R05.03.30	1. 令和4年度 第2次収支補正予算の承認について 2. 令和5年度 事業計画の承認について 3. 令和5年度 収支予算の承認について 4. 理事の選任について

名 称	日 付	主 な 内 容
法人内監査	R04.05.16	事業報告、計算関係書類及び財産目録等の適正執行の承認
評議員選任・ 解任委員会	R04.06.16 (決議の省略)	1. 評議員の選任について
	R05.03.22 (決議の省略)	1. 評議員の選任について
総務部会	R04.05.16	1. 令和3年度 事業報告について 2. 令和3年度 収支決算について
	R05.02.14	1. 総務部会部会長・副部会長の選出について 2. 令和4年度 決算見込について 3. 令和5年度 事業計画及び収支予算(案)について 4. 第5次地域福祉活動計画・第4次経営改革計画の策定について
地域部会	R04.04.20	1. 令和3年度 事業報告について 2. 令和4年度 ふれあいのまちづくり推進大会について 3. 地区社協連絡会について 4. 福祉推進委員連絡会について 5. 地区防災士連絡会について
	R05.01.24	1. 地域部会長の選出について 2. 部会事業進捗状況について 3. 令和5年度 事業計画及び収支予算(案)について 4. ふれあい食事サービス事業・高齢者を囲む会事業臨時助成事業について 5. 第5次地域福祉活動計画・第4次経営改革計画の策定について
ボランティア部会	R04.04.27	1. 令和3年度 事業報告について 2. ボランティア講座について
	R05.01.27	1. 部会長・副部会長の選出について 2. 部会事業進捗状況について 3. 令和5年度 事業計画及び収支予算(案)について 4. 第5次地域福祉活動計画・第4次経営改革計画の策定について
事業運営部会	R04.04.22	1. 令和3年度 事業報告について 2. 総合相談事例について
	R05.01.27	1. 部会事業進捗状況について 2. 令和5年度 事業計画及び予算(案)について 3. 第5次地域福祉活動計画・第4次経営改革計画の策定について

訪問看護 運営委員会	R04. 12. 7	1. 運営状況について 2. 専門委員会の報告について
訪問看護 専門委員会	R04. 10. 5	1. 職員体制について 2. 利用者状況・症例について
	R05. 02. 28	1. 職員体制について 2. 利用者状況・症例について

イ 正副会長会の開催

法人運営の業務執行状況の確認や、理事会、評議員会の議案調整のため正副会長会を開催しました。

【開催状況】

日 付	主 な 内 容
R05. 03. 09	1. 令和4年度 第3回理事会及び第2回評議員会について

ウ 苦情解決に関する取組みの充実

本会が提供する福祉サービスに係る利用者等からの申し入れに対して、早期の的確な対応に努めました。

苦情等の問題発生に備え、第三者委員の設置をするほか、ヒヤリハット等の取り組みを行いました。

エ 社会福祉法人地域公益実践推進事業

社会福祉法人の責務として位置づけられている「地域における公益的な取り組み」の推進を図りました。また、大垣市社会福祉法人連携協議会の加盟法人と連携・協働、情報を共有し取り組みました。

公益的な取組	内 容
あんしん見守りネットワーク	誰もが孤立することをなくし安心して生活ができるよう地域での見守り活動及びネットワークの構築
食事サービス	ボランティアによる手作りのお弁当を持参し、地域の絆づくりや、ふれあい・見守り活動の一環として実施
ふれあいいいきいきサロン	高齢者が気軽に集まり、楽しく過ごせる場づくり
お散歩カフェ	相談支援及び介護予防の拠点として、住民が気軽に集まる場づくり
買い物支援	高齢者の生活課題（買い物支援）の解決のため、地域で調査を進めながら実施
支え合いの会	地域での支え合う仕組みづくりを推進
みんなで支え合いバンク	生活でお困りの方に対して、相談や支援に結び付けるため、簡易なフードバンクを実施
法人連携	公益的な取り組みの推進及び法人間の顔の見える関係づくり、新たな社

	会資源の役割の取組
地区社協との連絡調整	地域ニーズを把握し、解決できるよう地域活動の調査・研究、資源開発

大垣市社会福祉法人連携協議会 加盟法人数 23 法人

オ 職員育成の充実

職員の資質向上を目的に、法人内研修を実施しました。また、他機関が実施する外部研修にも計画的に職員を派遣しました。

(ア) 管理・監督者合同研修

12月15日(木) 午後1時30分～午後3時30分

所属長・補佐・係長・安全運転管理者他：「交通安全研修」 25人受講

(イ) 実習生の受入れ

社会福祉の専門家(社会福祉士・介護福祉士)や看護師等をめざす学生に、人材育成の一環として実習の場を提供しました。

カ 役員研修の実施

と き 2月17日(金) 午後4時～

ところ 大垣フォーラムホテル

参加者 役員等(地区社協会長及び連合自治会長)

内 容 報 告 「本市における地域福祉活動の現状と課題」

地域のふくし相談課 課長 岸本 有紀

講 演 「これから求められる地域活動・地区社協の役割」

講 師 岐阜県社会福祉協議会 事務局次長 斎藤 浩昭 氏

(2) 財政基盤

ア 住民会員、会費制度の充実

関係機関と連携し、魅力ある社協をめざし、社協活動のPRに努め、賛助会員への理解を求めるとともに、会員の増員を図りました。

一般会員数(世帯数) 49,194 世帯、特別会員 2 件、賛助会員 311 件、施設会員 71 件

イ 積立金・基金の拡大及び運用

社協独自の自主財源を確保することを目的に、積立金・基金の確保や資金運用に努めました。

ウ 効果的な資金運用

資産運用について研究を深め、公益性のある法人として、ボランティア活動振興基金等の運用益を事業に運用しました。

エ 共同募金・歳末助け合い運動の推進

共同募金会大垣市支会として、関係機関と連携し、共同募金・歳末たすけあい募金活動の推進を図りました。

「戸別募金」「法人募金」「学校・職域募金」「街頭募金」やバッジ・図書カード・クオカードによる募金等を実施しました。

募金活動の計画的実施、募金の拡大を図ることを目的に、共同募金会大垣市支会理事会を開催しました。

【開催状況】

日 付	主 な 内 容
R04.06.29	1. 支会長・副支会長の選定について 2. 令和3年度 事業報告及び決算について
R05.03.15	1. 令和5年度 事業計画及び予算について

(3) 指定管理施設の運営管理

第4期（令和元年度～令和5年度）を迎えた指定管理者として、総合福祉会館、かわなみ作業所、老人福祉センター（大垣、上石津、墨俣）、デイサービスセンター（上石津、墨俣）の適正な管理・運営を図り、施設機能の住民理解をさらに深め、利用者ニーズの充足を第一としてサービスの提供を行いました。

（※かわなみ作業所は特定指定として平成26年度から10年間の管理）

(4) 広報活動の強化

ア 大垣市社会福祉大会

福祉功労者の表彰及び福祉講演により、福祉の啓発を図りました。

と き 8月11日（木・祝）

ところ 大垣市情報工房 5階 スイंकホール

・表彰及び感謝状 17団体 110個人

（会長表彰：2団体・109個人、会長感謝状：15団体・1個人）

・福祉標語の表彰 7作品入賞

（応募総数：2,559作品）

一 般 の 部： 24作品（内入選1作品）

小学生の部：1,337作品（内入選4作品）

中学生の部：1,198作品（内入選2作品）

・記念講演『SDGsと地域福祉活動』

講師 サンメッセ総合研究所（Sinc）代表

サンメッセ株式会社 取締役専務執行役員経営企画室長

田中 信康 氏

・大垣市社会福祉協議会“SDGs”宣言

イ 社協だよりの発行

社協事業について1人でも多くの市民に理解していただくため、市内全戸配布による「社協だより」を発行しました。社協会費(4/15)、共同募金依頼(9/15)のため、法人社等にも配布しました。

<年6回、4, 6, 7, 9, 12, 1月15日発行> 発行部数 約57,000部

社協だよりアンケートモニターを募集し、令和4年度は5名から延23回の回答をいただきました。

【掲載記事】

<4月15日号(第277号)>

- ・令和4年度事業計画、予算
- ・令和4年度大垣市社会福祉大会 標語募集
- ・サロン保険のご案内
- ・「趣味の教室」会員募集
- ・ふれあいのまちづくり推進大会 開催案内
- ・大垣市総合福祉会館の紹介
- ・新しくなります!地域のふくし相談課
- ・介護予防教室『はじめの一步』 開催案内
- ・大垣市障がい者生活支援センター・大垣市障がい者就労支援センター紹介
- ・ボランティア活動保険加入案内
- ・点訳、音訳ボランティア養成講座 募集
- ・社協 SNS の紹介
- ・社協窓口のご案内
- ・有料広告(6社)

<6月15日号(第278号)>

- ・with コロナを見据えて 各地区でも少しずつ活動が 増えてきています
- ・会費依頼・募集
- ・災害協定を締結
- ・切手収集ボランティア NTT・OB むすびの会 紹介
- ・ふうせんかずら 紹介
- ・軽トラ 寄付
- ・有料広告(6社)

<7月15日号(第279号)>

- ・令和4年度 大垣市社会福祉大会 開催案内
- ・令和4年度 大垣市社会福祉功労者表彰
- ・福祉標語入選者発表
- ・令和3年度 事業報告・決算
- ・初心者ボランティア講座 募集

- ・わくわく！サマースクール 募集
- ・子どもの居場所サポーター養成講座 募集
- ・令和5年度職員採用試験 案内
- ・ふれあいのまちづくり推進大会 開催報告
- ・有料広告 (6社)

<9月15日号 (第280号) >

- ・赤い羽根共同募金運動 (令和4年度目標額)
- ・赤い羽根共同募金運動 事業紹介 (パネル展・コラボグッズ・募金箱設置)
- ・令和4年度会費報告・お礼
- ・ひとり親世帯を応援します！
- ・令和4年度大垣市社会福祉大会 報告
- ・講座の様子紹介「サマースクール」「子どもの居場所サポ」「初心者ボラ」
- ・生活福祉資金のご案内
- ・第30回福祉ふれあいボランティアフェスティバル 案内
- ・有料広告 (6社)

<12月15日号 (第281号) >

- ・歳末たすけあい運動
- ・赤い羽根共同募金 報告 お礼
- ・まちがいさがしやってみよう
- ・見守り協定事業所募集中
- ・傾聴ボランティア養成講座 開催案内
- ・赤い羽根共同募金 コラボ案内 (僕のヒーローアカデミア)
- ・大垣市立かわなみ作業所より (麺の日寄付、かりんとうの日)
- ・有料広告 (5社)、募集

<1月15日号 (第282号) >

- ・会長新年のあいさつ
- ・ニューイヤーサンライズ in すのまた 報告
- ・子育て応援事業 ホテルの美味しいカツカレーを食べよう 報告
- ・子どもの意見を聞く会・高校生メッセージボランティア (パネル展) 開催案内
- ・歳末たすけあい募金 報告
- ・かわなみマルシェ オープン
- ・赤い羽根共同募金 報告
- ・高校生メッセージボランティア
- ・おやじさんのコーヒー教室 募集
- ・わくわく！ウインタースクール 募集
- ・高校生歳末清掃
- ・ふれあいいきいきサロン
- ・「まちがいさがし」 やってみよう！ 解答と当選者

- ・有料広告(6社)

<随時掲載>

- ・寄付、災害義援金お礼
- ・職員募集
- ・収集ボランティア募集、お礼
- ・みんなで支え合いバンク お礼

ウ インターネット、ソーシャルメディアを活用した広報活動の充実

市民に対してタイムリーな福祉情報の提供をめざして、随時ページの更新をしました。

さらに、社協NOW(ブログ)を活用して、市社協行事や地区社協活動等、さまざまな地域福祉活動を掲載しました。

- ・アクセス総件数：121,825件(昨年度：141,702件)

《ホームページ月別アクセス総件数》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
R03	11,698	11,925	11,717	11,811	12,439	11,519
R04	11,870	10,880	13,962	9,948	11,718	8,901
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
R03	12,527	13,126	11,684	12,214	10,518	10,524
R04	8,976	9,945	10,171	8,940	6,790	9,724

社協情報誌の発行

「社協のあらまし・地区社協活動のてびき(概要版)」の作成

自治会長・民生児童委員・福祉推進委員(地区代表・副代表)等に配布しました。

エ 広告掲載事業

広告主となる企業等による地域貢献活動と、社協の地域福祉活動の財源確保を目的に、有料広告を掲載しました。

掲載料：広報誌(1区画3,300円/号)、ホームページ(1区画3,300円/月)

掲載企業数：7社(広報誌6社、ホームページ3社)

掲載可能枠：広報誌0枠、ホームページ7枠

(5) 介護・障がい福祉サービス事業等

ア 居宅介護支援事業

ケアマネジャー(介護支援専門員)が要介護認定を受けた方を対象に、本人やご家族の希望を取り入れ、利用者のニーズを意識した介護サービス計画を作成しました。また、介護サービスがスムーズに実施されるよう、サービス実施機関等との連絡調

整を行いました。

① 大垣居宅介護支援事業所

《計画作成件数(要支援)》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R03	79	75	74	73	75	71	72	69	69	68	70	71	866
R04	70	69	65	67	66	64	63	61	61	62	58	60	766

《計画作成件数(要介護)》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R03	220	217	215	207	209	214	214	220	229	233	227	226	2,631
R04	223	221	226	224	225	229	228	218	225	222	219	223	2,683

② 上石津居宅介護支援事業所

《計画作成件数(要支援)》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R03	34	36	35	33	35	33	33	33	32	32	28	27	391
R04	30	31	34	34	30	30	29	28	28	28	29	28	359

《計画作成件数(要介護)》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R03	98	102	100	95	100	99	97	98	99	98	95	99	1,180
R04	96	99	95	96	96	96	100	100	105	102	100	100	1,185

イ 障がい者サービス 特定相談支援事業

障害福祉サービス等の利用を希望する障がい者（児）の、総合的な援助方針や解決すべき課題を踏まえ最も適切なサービスの組み合わせ等について検討し「サービス等利用計画」の作成、見直し等を行いました。

《計画作成件数(障がい者)》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R03	24	26	24	22	23	16	32	23	21	30	25	25	291
R04	23	22	26	29	33	20	27	23	22	32	30	27	314

《計画作成件数(障がい児)》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R03	3	3	3	1	2	3	3	0	3	2	2	4	29
R04	2	3	2	2	1	3	2	2	2	1	2	3	25

ウ 訪問介護事業

利用者が安心して安全に在宅生活を継続できるよう、介護保険及び障害者総合支援法による良質なサービスの提供を図るとともに、様々な利用者ニーズに対応するため、サービス提供責任者による定期訪問や管理者を中心とした問題解決を行いました。平成31年4月1日より上石津ヘルパー室はサテライト化し、大垣ホームヘルパー室と統合しまし

た。

① ホームヘルパー室

《利用者数(総合事業)》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R03	92	90	93	92	93	92	85	82	82	79	76	75	1,031
R04	75	76	74	74	71	71	70	69	66	79	64	64	853

《利用者数(要介護)》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R03	87	87	90	83	80	84	92	96	97	99	95	96	1,086
R04	93	96	92	93	96	94	91	88	88	86	86	86	1,089

《延利用回数(要介護のみ)》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R03	1,085	1,030	1,084	1,039	988	1,037	1,056	1,160	1,169	1,061	1,015	1,129	12,853
R04	1,113	1,141	1,118	1,095	1,111	1,081	1,033	1,015	1,018	969	923	1,135	12,752

② ホームヘルパー室(障がい)

《利用者数》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R03	67	66	65	67	59	62	63	64	62	61	60	55	751
R04	60	60	58	59	63	61	58	61	59	61	55	56	711

《延利用回数》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R03	751	754	745	746	715	713	754	731	757	761	750	854	9,031
R04	791	788	790	795	780	776	787	768	763	684	708	803	9,233

エ 訪問看護事業

訪問看護ステーション

小児から高齢者まで、病気やケガにより在宅での療養が必要な人に対し、住み慣れた家庭や地域社会で安心して療養生活が送れるよう、主治医の指示のもと褥瘡や各種経管の管理、介護相談等 24 時間緊急体制で看護サービスを提供しました。また、医療的ケア児に対し、学校への訪問活動を提供しました。

理学療法士等が日常生活自立に向けてリハビリテーションを実施しました。

《利用者数(介護保険)》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R03	92	91	93	92	90	94	96	97	98	94	93	91	1,121
R04	89	89	90	90	89	89	86	82	81	81	81	83	1,030

《利用者数(医療)》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R03	51	51	51	52	49	50	50	50	48	53	47	48	600
R04	49	51	48	51	48	54	51	49	46	48	46	54	595

《延利用回数》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R03	1,080	975	1,130	1,110	1,065	1,073	1,177	1,155	1,161	1,104	1,015	1,138	13,183
R04	1,098	1,093	1,193	1,119	1,200	1,080	1,062	973	1,001	942	957	1,168	12,886

オ 通所介護事業

通常自宅で行われている入浴や食事の支援や、機能訓練、余暇活動、バイタルチェック等の専門的な支援を行い、社会的孤立感の解消及び心身機能の維持と家族の介護支援を図りました。

① 上石津デイサービスセンター (指定管理施設)

《利用者数》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R03	72	72	70	68	73	72	74	73	71	73	69	73	860
R04	71	73	72	72	71	70	72	74	72	70	66	66	849

《稼働率》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
R03	71.92	75.00	79.36	76.30	79.36	87.05	88.59	90.77	85.90	95.83	79.72	94.20	83.67
R04	89.62	90.77	89.23	89.62	84.44	77.05	81.92	86.92	80.90	78.61	73.75	77.78	83.38

② 墨俣デイサービスセンター (指定管理施設)

《利用者数》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R03	54	49	51	51	52	48	48	46	44	43	41	36	563
R04	34	37	37	39	36	37	35	38	39	39	37	38	446

《稼働率》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
R03	73.69	68.00	74.00	74.22	71.85	67.85	71.85	68.31	63.23	61.50	56.33	53.63	67.04
R04	51.69	52.31	55.38	53.38	51.85	53.38	51.23	54.46	58.77	59.00	56.50	58.96	54.74

③ 福祉の館 デイサービス青野 (地域密着型)

《利用者数》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R03	12	10	10	11	11	11	11	9	9	9	9	11	123
R04	11	10	10	11	11	10	10	10	11	9	9	10	122

《稼働率》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
R03	53.08	45.38	45.38	45.93	45.77	46.92	46.54	41.54	42.31	38.33	35.00	36.30	43.54
R04	42.69	43.46	46.92	47.31	42.59	40.38	44.62	44.23	40.00	36.25	40.42	47.41	43.02

カ 障がい者サービス 生活介護事業・就労継続B型事業

かわなみ作業所運営事業（指定管理施設）

障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業所として、生活介護事業及び就労継続支援B型事業の指定を受け、障がい者に生産活動等の機会を提供しました。

① 生活介護事業【定員：65名】

利用者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、通所により生産活動の機会の提供、創作的活動、排泄及び食事の介護、その他の便宜を適切かつ効果的に行うことを目的として施設を運営しました。

② 就労継続支援B型事業【定員：35名】

通所により就労や生産活動の機会を提供するとともに、一般就労に必要な知識、能力が高まった者には、一般就労への移行に向け支援することを目的とし施設を運営しました。

《利用者数》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R03	95	93	96	96	95	92	95	96	96	93	90	91	1,128
R04	93	94	94	94	93	92	94	94	94	93	93	93	1,121

《延利用回数》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R03	1,789	1,524	1,937	1,685	1,703	1,652	1,903	1,808	1,667	1,182	1,495	1,843	20,188
R04	1,732	1,700	1,947	1,609	1,392	1,661	1,788	1,791	1,632	1,600	1,377	1,880	20,109

キ 障がい者サービス 共同生活援助（グループホーム）事業

① かわなみホーム

通所施設等を利用する障がいのある方に、住居を提供し日常生活で必要な介護及び支援を行うことにより、地域生活における入居者の自立と社会参加を促進することを目的とし、かわなみ作業所と連携を図りながら入居者の支援を行いました。

入居定員 19名（入居者18名・体験利用者1名）

《利用者数(入居)》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R03	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	17	17	214
R04	18	18	18	10	17	17	17	17	18	18	18	17	203

《利用者数(体験)》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R03	7	7	9	4	4	10	10	11	10	6	7	7	92
R04	8	10	11	0	5	6	6	6	4	2	2	6	66

《延利用回数(入居)》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R03	396	363	426	393	403	359	397	386	370	306	350	413	4,562
R04	390	373	413	192	307	373	398	385	369	372	310	406	4,288

《延利用回数(体験)》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R03	25	22	31	23	22	23	27	25	23	12	14	18	265
R04	19	20	32	0	17	20	29	25	26	22	19	32	261

ク 障がい者サービス 短期入所（ショートステイ）事業

① かわなみホーム短期入所事業

日ごろ支援をされているご家族が病気等の理由により支援が難しいなどの場合に、短期間での入所をしていただけるよう、ホーム内に2部屋専用の部屋を設けて、運営を行いました。（入居定員 2名）

《利用者数》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R03	7	9	11	8	5	5	6	8	8	7	5	5	84
R04	9	7	11	11	7	10	12	16	16	12	14	12	137

《延利用回数》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R03	54	47	58	54	43	43	50	53	46	34	46	51	579
R04	57	43	63	55	35	33	49	56	59	49	45	65	609

ケ 老人福祉センター運営事業（指定管理施設）

健康増進・入浴・教養の向上及びレクリエーション、各種相談の場として、高齢者のための便宜を総合的に供与することを目的に運営しました。

① 大垣市老人福祉センター

	開館日数	個人入館者数	入浴者数	団体入館者数	趣味の教室利用者数
R03	259	2,384	5,060	2,023	2,766
R04	294	3,002	6,571	3,595	3,379

② 大垣市上石津老人福祉センター

	開館日数	個人入館者数	入浴者数	団体入館者数	趣味の教室利用者数
R03	215	4,320	2,473	1,092	325
R04	244	5,063	3,289	2,153	56

③ 大垣市墨俣老人福祉センター

	開館日数	個人入館者数	入浴者数	団体入館者数	趣味の教室 利用者数
R03	213	3,007	1,062	158	3,013
R04	244	2,726	1,342	95	4,408

コ 総合福祉会館運営事業 (指定管理施設)

① 大垣市総合福祉会館

市民の福祉活動の拠点とし、市民の福祉向上に寄与することを目的に運営しました。

《利用件数等》

	開館日数	ホール	会議室等	視聴覚室	調理室
R03	291	144	968	64	5
R04	345	175	1,388	104	11

《利用者数》

	ホール	会議室等	視聴覚室	調理室
R03	3,811	10,250	270	55
R04	7,344	17,926	512	124

サ 福祉バス運営事業 (市受託事業)

福祉団体等の社会参加活動を目的に運営しました。

《利用件数》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R03	2	2	0	1	0	0	2	2	1	1	0	0	11
R04	0	3	2	3	0	3	4	6	4	0	1	0	26

《利用者数》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R03	19	19	0	11	0	0	17	20	5	9	0	0	100
R04	0	26	16	25	0	0	46	45	35	0	15	0	208

2 地域部会

(1) 地域福祉活動計画の事業推進

ア 地域福祉活動計画の推進及び評価

策定した第4次地域福祉活動計画（期間：令和元年度～令和5年度 5ヶ年）を推進し、実施事業の評価を行いました。

令和4年度は第5次地域福祉活動計画の策定に向け、各地区社協において地域懇談会を開催しました。

(2) 地区社協活動の強化（地区社協メニュー事業の実施）

ア 地域住民福祉活動の推進を支援

地区担当職員が地域活動への相談支援を行いました。

地区担当職員相談支援数（地区社協事業、見守り、サロン、食事サービス、研修会等）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件	167	171	130	102	59	86	106	98	83	123	170	112	1,407

(ア) 地区社協を強化する事業の推進（部会、委員会の開催、地区社協福祉大会等）

市内全地区で地域諸団体が役割分担をもち、各部会（委員会）を設置し、相互の調整を通して組織的な運営を行い、広く地域住民への理解を得るための地区社協活動の支援を図りました。

a 各地区社協総会（評議員会）日程（全地区） ※印：書面等による実施

地区名	開催日	地区名	開催日
興文	5月27日（金）	江東	4月8日（金）
東	5月7日（土）	川並	※
西	5月25日（水）	中川	3月26日（土）※
南	5月16日（月）	和合	4月23日（土）
北	6月26日（日）	三城	4月23日（土）
日新	4月14日（木）※	荒崎	※
安井	5月6日（金）	赤坂	5月12日（木）
宇留生	4月16日（土）	青墓	4月23日（土）
静里	4月15日（金）	上石津	5月30日（月）
綾里	4月12日（火）	墨俣	※

b 地区社協福祉大会の開催（16地区）

地区功労者の表彰、体験発表、講演などを各地区にて行いました。

※印：新型コロナウイルス感染予防の観点から中止

地区名	開催日	地区名	開催日
興文	10月14日（金）	川並	※
西	2月19日（日）	中川	9月4日（日）※
南	11月6日（日）	和合	9月23日（金）※
北	10月22日（土）※	三城	10月29日（土）
日新	11月20日（日）※	荒崎	10月23日（日）
安井	10月23日（日）※	赤坂	11月20日（日）
宇留生	11月13日（日）	青墓	10月16日（日）※
綾里	11月26日（土）※	上石津	11月3日（木祝）

- (イ) 福祉の心を育てる事業の推進（地区社協だよりの発行、福祉推進委員研修会等）
地域住民等へ福祉に対する理解を深め、福祉のまちづくりにつながる事業を支援しました。

a 地区社協だよりの発行

地区社協活動を地域住民に周知することを目的に実施されました。

b 子どもの意見を聞く会

日常生活の中で福祉に関する体験を通じた子どもの意見発表が実施されました。

静里地区：1月14日（土） 西地区：2月19日（日）

- (ウ) 福祉の輪を広げる事業の推進（歳末友愛訪問、三世代交流事業等）

地域住民全体のふれあい交流活動を通して、福祉の輪を広げる事業へ支援しました。

a 歳末友愛訪問事業（全地区）

市内全地区社協でひとり暮らし高齢者、寝たきりの方等へ、まごころのこもった贈り物を持って歳末友愛訪問が実施されました。（対象者：2,744人）

b 三世代交流事業

三世代がふれあう場を設け、あたたかみのある環境づくりを促進する内容で実施されました。

静里：10月16日（日）

c 三世代意見交換会

三世代が意見の交流を行いました。（福祉大会などで実施）

d 住民運動会

大人と子どもがスポーツやレクリエーションを通じて、助け合いの心を育むよう各地区にて実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染症予防の観点から中止となりました。

e 青少年の健全育成

青少年の健全育成を推進するよう地域環境づくりが行われました。

- (エ) 「地区社協推進活動に対する助成要綱」に基づく事業への支援

助成要綱に基づき、地区社協事業への支援を行いました。

一般会費からの助成事業		共同募金、歳末募金からの助成事業	
助成事業名	助成金額	助成事業名	助成金額
事業活動補助金	11,064,370円	歳末友愛訪問事業	2,058,000円
福祉推進委員研修会	156,700円	高齢者を囲む会 ※	514,355円
地域防災力向上推進事業	570,000円	ふれあいいきいきサロン	2,230,000円

※印：高齢者を囲む会助成は臨時助成を含む

イ 地区社協のてびき等の作成

地区社協活動の周知・活性化のため「みんなでいいまちつくろうよ 社協活動のあらまし」ダイジェスト版を作成、地区社協会長、民生児童委員、福祉推進委員（代表）他に配布しました。

(3) 地区社協との連絡調整

ア 地区社協連絡会の開催

各地区代表者との連絡調整を行いました。

第1回：6月1日（水） 総合福祉会館

第2回：2月1日（水） 総合福祉会館

イ 地区社協活動計画の評価と進捗状況の把握

20 地区社協で作成された地区社協活動計画に基づき、各地区で展開されている事業の進捗状況を把握し、確認や評価を行いました。

ウ 調査・研究事業

地域で暮らす多様な人々が、団体の地域活動や支え合い活動へ積極的に参加できるよう地域活動に対する意識調査・研究について検討しました。(あんしん見守りネットワーク活動状況報告・緊急連絡のてびき・生活支援活動等)

エ アフターコロナを見据えた地域福祉再生ビジョン事業(市受託事業)

中止や縮小となっている地域福祉活動を活発化することを目的として地域福祉講演会を開催しました。

開催日: 2月21日(火)

開催場所: 情報工房

内 容: 地域福祉活動報告(上石津地区社協)

講演 「ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた地域福祉活動の推進」

講師 日本福祉大学 社会福祉学部 教授 小松 理佐子 氏

(4) 重層的な地域支えあいネットワーク活動(「見守りネット&ネット」)の推進

ア ふれあい・いきいきサロンの設置・運営

(ア) 20 地区社協主催「ふれあい・いきいきサロン」の設置、運営の推進

高齢者が気軽に集まり、楽しく過ごせる場所をつくることを目的に 20 地区社協を基盤として、各自治会にて登録されました。(助成対象サロン数: 223 ヶ所)

地区名	自治会数	実施自治会数	サロン数	地区名	自治会数	実施自治会数	サロン数
興文	55	9	9	江東	20	12	11
東	28	7	7	川並	10	7	6
西	29	19	16	中川	19	18	18
南	28	11	8	和合	8	7	7
北	55	30	18	三城	37	24	9
日新	16	14	14	荒崎	12	12	9
安井	21	11	9	赤坂	22	21	16
宇留生	26	26	5	青墓	13	13	13
静里	14	14	14	上石津	40	25	21
綾里	15	5	3	墨俣	22	22	10
合計					490	307	223

(イ) 地区別サロン活動推進研修会の開催

地区社協ごとにサロン研修会、交流会の開催を支援しました。

(研修、交流内容: 各いきいきサロンの活動報告、貸出備品体験、情報交換等)

西: 5月11日(水) 北: 2月18日(土) 日新: 2月11日(土)

川並: 2月22日(水) 墨俣: 5月10日(火)

イ 福祉推進委員活動の支援(福祉推進委員研修会に対する支援)

(ア) ふれあいのまちづくり推進大会の開催

開催日: 6月12日(日)

開催場所: 市民会館

内 容：全体研修

地区社協による活動実践報告（青墓校区社協）

講 演 「地域共生社会に向けて、これから必要となる支え合いとは」

講 師 岐阜協立大学 経済学部 公共政策学科 准教授 後藤 康文 氏

ふれあいのまちづくり事業の一環として、小地域における住民参加型による地域福祉活動を行うため、福祉推進委員を各自治会単位に設置しました。490 自治会から、883 人を設置。自治会内 50 世帯に 1 人の設置を推進しました。

地区別福祉推進委員数(任期：令和 3 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日)

地区名	自治会数	推進委員数	地区名	自治会数	推進委員数
興 文	55	64	江 東	20	40
東	28	39	川 並	10	22
西	29	62	中 川	19	69
南	28	34	和 合	8	24
北	55	90	三 城	37	51
日 新	16	31	荒 崎	12	29
安 井	21	36	赤 坂	22	49
宇留生	26	49	青 墓	13	41
静 里	14	43	上石津	40	51
綾 里	15	27	墨 俣	22	32
			合 計	490	883

(イ) 福祉推進委員連絡会及び役員会の開催

各地区代表者との連絡調整を行いました。

a 福祉推進委員連絡会

第 1 回：6 月 7 日（火） 総合福祉会館

第 2 回：2 月 7 日（火） 総合福祉会館

b 福祉推進委員連絡会の部会開催

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止。

(ウ) 各地区福祉推進委員研修会の支援

市内全地区で福祉推進委員制度と福祉推進委員の役割、生活支援活動、あんしん見守りネットワーク事業などについて、地区ごとに自治会長、民生児童委員、福祉推進委員などが集り、研修会の開催を支援しました。

地区名	開 催 日	地区名	開 催 日	地区名	開 催 日
興文	2 月 13 日（月）	安井	6 月 26 日（日）	中川	10 月 8 日（土）
東	12 月 15 日（木）		2 月 19 日（日）	三城	7 月 2 日（土）
	2 月 16 日（木）	宇留生	5 月 28 日（土）		1 月 21 日（土）
西	11 月 19 日（土）	静里	6 月 21 日（火）	荒崎	7 月 20 日（水）
南	7 月 15 日（金）	綾里	5 月 31 日（火）		2 月 24 日（金）
	11 月 18 日（金）		3 月 14 日（火）	青墓	6 月 17 日（金）
北	10 月 8 日（土）	江東	5 月 22 日（日）		2 月 9 日（木）
	2 月 18 日（土）	川並	10 月 19 日（水）	上石津	7 月 15 日（金）
日新	2 月 11 日（土）		2 月 22 日（水）		1～3 月分散開催

(エ) 福祉推進委員向けの情報誌「ねっとわーく！」の作成（発行月：6・2 月）

ウ 食事サービス・高齢者を囲む会の推進

(ア) 各地区食事サービス・高齢者を囲む会の推進

a 食事サービス事業

ボランティアによる手作り料理（弁当）を持参して、ひとり暮らし高齢者宅等を訪問し、信頼感や安心感を得られるように、地域の絆づくりやふれあい・見守り活動の一環として実施されました。（各地区月1回～4回・昼食又は夕食）

※新型コロナウイルス感染拡大への不安が大きいことによる食事サービス事業実施が制約される中、見守り活動やつながりを絶やさないことを目的とする取組として、臨時事業を実施しました。（臨時事業：購入した食事等を配食）

対 象 高 齢 者：237人（延べ利用者数：通常 5,052人、臨時 1,234人）

ボランティア数：932人

実 施 地 区：16地区17ヶ所（通常12ヶ所、臨時4ヶ所、休止1ヶ所）

b ひとり暮らし高齢者を囲む会

地区内のひとり暮らし高齢者と地域ボランティアが集り、会食・レクリエーションなどふれあいを通して、交流が行われました。

※新型コロナウイルス感染拡大への不安が大きいことによるひとり暮らし高齢者を囲む会実施が制約される中、見守り活動や孤立感の解消を図ることを目的とする取組として、臨時事業を実施しました。（臨時事業：訪問活動と慰問品の配布）

実 施 地 区：高齢者を囲む会通常実施 5地区 382人

臨時実施 8地区 1,210人

(イ) 食事サービスボランティア代表者会議及び研修会の開催

食事サービスボランティア代表者を対象に代表者会議を開催しました。またボランティアの資質向上と食品衛生管理の徹底を目的に西濃保健所生活衛生課からいただいた食品衛生関係に関する資料を提供し参加者に周知しました。

開 催 日：3月2日（木）

開催場所：大垣市総合福祉会館 4階 研修室

内 容：意見交換及び食品衛生に関する研修

エ 緊急連絡のてびきの作成

ひとり暮らし高齢者等の緊急時（災害等）に備えて、「緊急連絡のてびき」を民生児童委員の協力を得て作成及び配付するとともに、緊急時の情報利用の効率化を図り、あんしん見守りネットワーク活動につなげるため、データ化を図りました。

緊急連絡のてびき作成数

地区名	自治会数	てびき 対象者数	地区名	自治会数	てびき 対象者数
興 文	55	228	江 東	20	192
東	28	234	川 並	10	66
西	29	393	中 川	19	321
南	28	301	和 合	8	126
北	55	531	三 城	37	352
日 新	16	148	荒 崎	12	165
安 井	21	240	赤 坂	22	307
宇留生	26	278	青 墓	13	184
静 里	14	248	上石津	40	191
綾 里	15	69	墨 俣	22	118

合 計	490	4,692
-----	-----	-------

オ あんしん見守りネットワーク事業の推進

自治会を単位として自治会長、民生児童委員、福祉推進委員が連携をとり、誰もが孤立することなく安心して生活できるよう、見守り対象者への声かけ等を実施し、見守り活動を推進しながら、あんしん見守りネットワークの構築を図りました。

あんしん見守りネットワーク状況報告 (R5.3.31 現在)

地区名	自治 会数	見守り対象 者数	見守り会議 実施数	地区名	自治 会数	見守り対象 者数	見守り会議 実施数
興 文	55	227	14	江 東	20	184	5
東	28	338	7	川 並	10	60	3
西	29	308	5	中 川	19	220	17
南	28	243	5	和 合	8	120	1
北	55	420	25	三 城	37	268	10
日 新	16	88	5	荒 崎	12	183	9
安 井	21	210	4	赤 坂	22	247	14
宇留生	26	395	20	青 墓	13	130	5
静 里	14	230	12	上石津	40	699	9
綾 里	15	107	5	墨 俣	22	184	22
				合 計	490	4,861	197

カ 地域支援ネットワーク委員会及び小地域支援ネットワーク会議（自治会単位）の開催

地域で支援を必要とする方が、地域から孤立することなく住み慣れた地域で安心して継続した生活を営むことができるような体制整備（地域支援ネットワーク委員会及び小地域支援ネットワーク会議の開催）を推進しました。

各地区地域支援ネットワーク委員会日程一覧

地区名	開 催 日	地区名	開 催 日	地区名	開 催 日
安井	2月8日（水）	中川	11月14日（月）	青墓	5月11日（水）
宇留生	1月22日（日）		3月10日（金）		1月27日（金）
静里	4月27日（水）	三城	6月16日（木）	上石津	6月20日（月）
綾里	5月25日（水）		11月30日（水）		1月16日（月）
	2月25日（土）	荒崎	6月29日（水）	墨俣	5月19日（木）
江東	7月20日（水）		2月15日（水）		

キ 地域防災力向上推進事業

地区社協及び地区防災士会と連携した災害時要援護者避難訓練を含めた防災訓練を各自治会単位で実施し、要援護者の把握と支援方法等の推進を図りました。

ク 見守り関係事業所との協定事業

市内の見守り関係事業所（新聞販売店、郵便局、金融機関、宅配業者等）68事業所と継続して見守り活動について連携を行い、見守り活動の強化と推進を図りました。

今年度は新たに3事業所と協定を締結しました。（合計71事業所）

(ア) 新規事業者

- ①株式会社 スズケン大垣支店 ②株式会社 レクストワン
③坪井自動車板金有限会社

(イ) 見守り関係事業所から気になる方や心配な方等の情報提供により、早期発見・早期対応を行い、見守り支援者や関係機関と連携し支援しました。

(相談件数 17 件…新聞販売店・水道検針会社・ポスティング会社)

また、見守りホットニュースを発行し、報告事例について情報共有を図りました。

(ウ) 大垣警察署と見守り対象者を子どもに広げた K (子ども・高齢者) M (見守り) K (声かけ) 協定の推進を行いました。

(エ) 見守りに関する情報共有を目的に見守り関係事業所連絡会を開催しました。

実施日：3 月 8 日 (水)

内 容：見守り関係事業所との情報交換、実績報告

ケ 生活支援事業

(ア) 買い物支援

高齢者の生活課題 (買い物支援) の解決のため、地域で調査を進めると共に綾里、青墓、上石津にて実施しました。

(綾里地区)

実施自治会数：1 自治会

利用登録者数：12 人

支 援 実 績：運行回数…24 回、延べ利用人数…205 人

(上石津地区)

実施自治会数：3 自治会

利用登録者数：25 人

支 援 実 績：運行回数…43 回、延べ利用人数…194 人

(青墓地区)

実施自治会数：2 自治会

利用登録者数：13 人

支 援 実 績：運行回数…11 回、延べ利用人数…96 人

コ 地区防災士会の支援

大垣市地区防災士連絡会を開催し、各地区代表者との連絡調整を図りました。

第 1 回：6 月 22 日 (水)

第 2 回：2 月 24 日 (金)

サ 生活支援活動拠点整備事業

(ア) お散歩カフェ

相談支援及び介護予防の拠点を、「お散歩カフェ」の名称で整備し、住民が気軽に集まる場を提供しました。(3 地区)

a 「うるおい」(宇留生地区) 毎月第 3 土曜日 宇留生地区センター修明館
新型コロナウイルス感染予防の観点から開催を見合わせました。

b 「あやの」(綾里地区) 毎週水曜日 綾野公民館・綾里地区センター
開催日：38 日 延べ利用者数：551 人

c 「おしゃべり広場東」(東地区) 毎月第 1・3 土曜日 東地区センター
開催日：24 日 延べ利用者数：590 人

(イ) お散歩カフェ わがまる地域勉強会 (寄ってこ知ってこ)

お散歩カフェ利用者向けに、身近な場所で健康や介護、認知症など気軽に楽しく学べる講座を実施し、我が事まるごとに向けた地域共生社会の浸透を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により未実施となりました。

3 事業運営部会事業報告について

(1) 相談・支援体制の強化（総合相談窓口体制）

ア 地域包括支援センター事業

地域の高齢者の心身の健康保持と生活の安定のために必要な相談・援助を行うことにより、保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に継続して支援しました。さらに、地域の関係機関等とのネットワークを構築し、地域住民の様々なニーズに応えることができるよう地域拠点としての機能充実を図りました。社会福祉士、保健師等、主任介護支援専門員の3職種が配置されています。

【組織】

エリア名	地区名	設置場所	実施機関
中央地区	興文・東・西・南	総合福祉会館	大垣市 社会福祉協議会
西地区	南杭瀬・日新・静里・綾里・荒崎		
東・墨俣地区	和合・三城・墨俣		
上石津地区	上石津	上石津老人福祉センター	
北地区	北・中川	中川ふれあいセンター	大垣市 社会福祉事業団
東南地区	安井・川並・洲本・浅草	市役所 高齢福祉課	市役所直営
北西地区	青墓・赤坂中・赤坂東・宇留生	お勝山ふれあいセンター	大垣市 社会福祉事業団

(ア) 総合相談・支援業務の実施

a 総合相談の実施

地域住民からの様々な相談を受けて、個別訪問等を行いどのような支援が必要かを把握し対応しました。（相談内容：介護保険、認知症、福祉サービス、医療・保健、家族関係など）

【総合相談件数：延べ6,260件】

担当エリア	相談件数
中央地区	1,744
西地区	1,545
東・墨俣地区	2,128
上石津地区	843
合計	6,260

b 地域ケア個別会議の開催

個別ケースの課題（認知症、家族関係、虐待など）について他機関・他職種で検討しました。

【開催件数：47件】

担当エリア	開催件数
中央地区	17
西地区	5
東・墨俣地区	18

上石津地区	7
合計	47

c 地域住民向けの広報誌の発行

「地域包括支援センターだより」の発行

定期の発行（4月・6月・8月・10月・12月・2月）

※年金支給月に合わせ偶数月の発行

配布先…民協・地区センター・医師会・薬剤師会・歯科医師会、保健センター
老人福祉センター、大垣共立銀行（本店・18支店）大垣西濃信用金庫
（本店・18支店）、西美濃農業協同組合（本店・20支店）、十六銀行
（6支店）

各地区のいきいきサロン、地域支援ネットワーク委員会、班回覧など

(イ) 高齢者等の虐待防止・早期発見・権利擁護事業の実施

a 高齢者虐待・消費者被害への対応

高齢者虐待、消費者被害の相談を受けて、個別訪問等を行いどのような支援が必要かを把握し、必要に応じて他機関との連携を行いました。

【相談対応件数：延べ258件】

担当エリア	高齢者虐待	成年後見	消費者被害	合計
中央地区	22	18	2	42
西地区	39	3	2	44
東・墨俣地区	128	39	1	168
上石津地区	0	4	0	4
合計	189	64	5	258

b 地域の民協やサロンに出向き、高齢者虐待、消費者被害を予防する情報発信を行いました。

【地域活動参加件数：291件】

地域活動	民協定例会議	地域密着型運営推進会議	地域支援ネットワーク委員会・地区福祉研修会	出前講座（サロン・老人会）	その他（見守り会議等）	合計
中央地区	41	2	3	16	4	66
西地区	36	1	15	5	1	58
東・墨俣地区	27	0	2	1	16	46
上石津地区	21	2	11	36	51	121
合計	125	5	31	58	72	291

c 大垣市高齢者権利擁護研修会開催

大垣市・介護サービス事業者連絡会共催にて実施：(ウ) d-(b)に掲載

(ウ) 包括的・継続的ケアマネジメント業務の実施

a ケアマネジャーからの個別相談（介護保険、認知症、福祉サービス、生活困窮、家族関係、医療・保健など）を受けて指導・助言を行いました。

【ケアマネジャー相談件数：延べ 1,448 件】

担当エリア	相談件数
中央地区	447
西地区	244
東・墨俣地区	606
上石津地区	151
合計	1,448

b 大垣市ケアプラン点検協働事業

各事業所より提出されたケアプランを通して担当ケアマネジャー（事業所）と包括の担当者が協働し確認する中で、気づきを得、利用者の自立支援に繋がるケアマネジメントの資質の向上を図り、ケアマネジャーが抱えている課題を把握する事を目的として実施しました。（12 事業所）

ケアプラン標準様式についての勉強会「大垣市ケアマネジャー研修会」開催

日 時 8 月 16 日（火） 場所：オンライン

内 容 「その人らしさ・個性」を大切にしたいケアマネジメント

講 師 天晴れ介護サービス総合教育研究所 株式会社

代表取締役 榊原 宏昌 氏

参加者 38 事業所（アカウント）

c 大垣市主任ケアマネジャーの会

目 的 地域のケアマネジメントリーダーとして共に自立支援型ケアマネジメントの推進。包括的・継続的ケアマネジメント体制づくりのための連携。個々の 関わりの中から地域の課題を把握し、課題の改善に向けた取り組みの提案。

対象者 46 事業所 主任ケアマネジャー 71 人

第 1 回 6 月 16 日（木） 場所：大垣市情報工房 5 階 スイंकホール

内 容 「住宅型有料老人ホーム等入居者のケアマネジメント」

（大垣市介護サービス事業者連絡会 ケアマネ部会共催） 参加者 63 人

第 2 回 10 月 19 日（水） 場所：大垣市情報工房 2 階 多目的研修室

内 容 「ケアマネジメント・スーパービジョンと言葉」 参加者 38 人

講 師 笠松町地域包括支援センター センター長 荒木 篤 氏

第 3 回 2 月 10 日（金） 場所：大垣市情報工房 5 階 スイंकホール

内 容 「家族が障がい者。利用者に関する判断は誰が？」（障害福祉課協働）
「プラスα会議 どこまでがケアマネの仕事？」

（大垣市介護サービス事業者連絡会 ケアマネ部会共催） 参加者 63 人

d 大垣市介護サービス事業者連絡会との連携

事務局として会務の運営を担いました。

(a) 役員会 4 月 20 日（水）、6 月 15 日（水）、8 月 17 日（水）、10 月 19 日（水）、
12 月 21 日（水）、2 月 15 日（水）

(b) 定例会（研修会）

第1回 7月22日（金）場所：大垣市情報工房セミナー室・オンライン

内 容 災害対策（BCPの策定）について パートⅡ

講 師 NPO法人 高齢者すまいる研究会 理事長 寺西 貞昭 氏

参加者 会場 28名 オンライン 45事業所

第2回 9月14日（水）場所：大垣市情報工房セミナー室・オンライン

内 容 「大垣市高齢者虐待防止研修会」

① 大垣市の高齢者虐待の現状について

② 「養介護者施設従事者等による高齢者虐待防止～虐待につながる不適切ケアとストレス対策、スピーチロックへの対応」

講 師 日本福祉大学・人間環境大学 非常勤講師

社会福祉法人 仁至会 サンサン大府施設長 塚本 鋭裕 氏

参加者 会場 20名 オンライン 59事業所

第3回 11月16日（水）～17日（木）

場 所 大垣市情報工房スィンクホール・セミナー室

内 容 「介護フェアおおがき 2022」

最新福祉機器用品の体験、高齢者疑似体験、野菜摂取量測定・骨の健康チェック

11月16日（水）

午 前：認知症サポーター養成講座 参加者 14名

午 後：パワハラ防止セミナー

講 師 ケアびと育成 Lab 平野 真弓氏 参加者 20名

11月17日（木）

午 前：明日から使える転倒予防手すり・歩行器選定活用方法

講 師 日本作業療法士協会 船谷 俊彰氏 参加者 32名

午 後：人生会議してみませんか

講 師 大垣市民病院 呼吸器内科医長 中島 治典氏 参加者 40名

第4回 1月24日（火）場所：大垣市情報工房セミナー室・オンライン

内 容 「人材育成研修 ～カスタマーハラスメントにならないために自分の心の声に耳を傾けよう～」

講 師 介護者メンタルケア協会介護支援専門員メンタルコーチ
中島 恵子氏

参加者 会場 21名 オンライン 47事業所

第5回 3月15日（水）オンライン

内 容 「介護予防研修会」（介護予防従事者向け）

講 師 岐阜県在宅栄養士会西濃支部 管理栄養士氏 河村 幸子氏

参加者 オンライン 67事業所

e 認知症サポーター養成講座の実施：3件

6月20日（月） 18人 大垣市老人福祉センター

9月29日（木） 11人 三城地区センター

10月4日(火) 21人 西部研修センター

(エ) 介護予防ケアマネジメント事業(第1号介護予防支援事業)の実施

基本チェックリスト該当者、要支援と認定された方を対象に訪問型サービス、通所型サービス等必要な援助を行いました。

(オ) 指定介護予防支援事業の実施

介護保険における予防給付の対象となる要支援者が介護予防サービス等の適切な利用ができるよう指定介護予防支援を行いました。

【介護予防ケアマネジメント事業・指定介護支援事業給付管理数：10,866件】

区 分	直 営	委 託	合 計 (新規)
介護予防マネジメント	657	1,623	2,280 (74)
基本チェックリスト該当者	265	743	1,008 (71)
介護予防支援	1,800	5,778	7,578 (160)
合 計	2,722	8,144	10,866 (305)

イ 認知症初期集中支援推進事業

介護保険法に基づき、認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けられるために、認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」を配置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築しました。

40歳以上で、在宅で生活している認知症が疑われる人又は認知症の人で、医療・介護サービスを受けていない人、受けている人で対応に苦慮している人に対して、訪問し心理的サポートや助言、医療・介護サービス導入支援、生活改善等の支援を行いました。

【相談・対応件数】新規相談：178件 継続：1,007件

新規チーム対応：32件 継続チーム対応：506件 終了・モニタリング：214件

【チーム員会議】開催頻度：毎月1回(第2月曜日) オンライン会議

メンバー：認知症サポート医、認知症地域支援推進員、アドバイザー(認知症看護認定看護師)

オブザーバー(認知症疾患医療センター)、地域包括支援センター

検討ケース：新規 新規 29件 継続 79件 終了 77件

※12月は中止。

【認知症普及啓発】(参加人数)

・笑話歯動場 12か所(163人)

・認知症サポーター養成講座開催 4か所(341人)

星和中学校・西中学校・認知症サポーターステップアップ講座・大垣桜高等学校

・認知症勉強会等 4か所(67人) 二又元気会・いきいきサロン2ヵ所・北西エリア家族会

・地域包括支援センター全体会議、拡大エリア会議参加

・認知症カフェへの参加

ぽ〜れば〜れ：毎月21日

スマイル：偶数月 第4月曜日、ひまわり畑：奇数月 第4金曜日

・認知症家族の会参加 毎月第1木曜日

・認知症予防事業

オレンジの泉：上石津老人福祉センター 毎月第2水曜日、

奥の細道むすびの地記念館 毎月第3木曜日

オレンジまめまめ会（上石津 10～12月）：牧田・一之瀬地区 毎月第3火曜日、

多良・時地区 毎月第4火曜日

ウ 在宅介護支援センター事業

要援護高齢者及びその家族からの相談に対応し、また地域支援事業における介護予防事業を実施し、在宅で生活する一般高齢者及び要援護状態になる恐れのある高齢者の状態の維持・回復の支援に努め、介護予防教室（はじめの一歩）を開催しました。

【参加者数：延べ602人】

開催場所/開催回数	参加人数
大垣市老人福祉センター(午前)/月1回	243
大垣市総合福祉会館(午後)/月1回	188
上石津老人福祉センター/月1回	85
墨俣老人福祉センター/月1回	86
合 計	602

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため7月(大垣2会場)・8月(全会場)中止

内 容：適切な運動、運動と血圧、骨粗鬆症、認知症とは、膝痛予防改善、転倒のしくみ

講 師：(株)アスプランニング スタジオヂーニース

エ 障がい者生活支援センター事業

専門相談員を1人配置し、在宅で生活している障がい者に対して、在宅福祉サービスの利用援助、社会資源の活用や社会生活を高めるための支援、介護相談及び情報の提供などを総合的に行いました。

(ア) 障がい者に関する総合的相談業務

(イ) ピアカウンセラーの配置(肢体6人(手話1人)、視覚1人、聴覚1人、内部1人)

【相談件数】1,413件(相談員948件、ピアカウンセラー465件)

【相談内容】社会参加・余暇活動、福祉サービス利用等、不安の解消・情緒、生活技術、健康・医療、就労、家族関係・人間関係、家計・経済、保育・教育、障害や症状の理解、権利擁護に関する支援

オ 障がい者就労支援センター事業

専門相談員1人を配置し、障がい者の社会参加と自立を促進させるため、「大垣市障がい者就労支援センター」において相談、職場や自宅への訪問等、障がい者の就労にかかる支援を行いました。

【相談支援件数】

新規相談件数 80 件 (身体 10 件、知的 10 件、精神 48 件、発達：2 件、高次脳機能：2 件
継続相談件数 340 件 その他:10 件)

支援延べ件数 1,814 件

【一般就労者数：2 人】知的 1 人、精神 1 人

【福祉的就労者数：19 人】身体 3 人、知的 1 人、精神 15 人

カ 福祉サービス利用支援センター事業

専門員 1 人を配置し、生活支援員や様々な関係機関と連携し、判断能力が不十分な方に対して福祉サービス利用援助、日常的金銭管理サービス、書類等預かりサービスを行いました。

利用者数：65 人 生活支援員数：4 人

【相談対応件数 1,597 件】

	初回相談件数 (事業説明のみ)	初回面談 件数	新規契約 件数	解約 件数	相談援助 延件数
認知症高齢者	0	11	4	4	345
知的障害者等	1	3	3	1	339
精神障害者等	1	8	6	3	911
不明・その他	0	2	0	1	2
合 計	2	24	13	9	1,597

成年後見制度相談

高齢者や障がい者等で判断能力が不十分な方への成年後見制度利用に向けた相談・制度の理解を目的とし地域住民や福祉関係者への相談対応を行いました。

【相談・対応件数】 33 件

制度に関する問合せ (概要等)	利用申立手続きに ついて	その他 (一般相談等)
7	11	15

キ 生活支援相談センター事業

生活困窮者自立支援法に基づき、生活にお困りの方に対して、専門的な知識、相談支援経験を有する主任相談支援員 1 人、相談支援員兼就労支援員 2 人を配置し、就労等の相談支援を行いました。

(ア) 相談実績

新規相談件数：301 件、プラン作成件数：70 件、就労支援対象者数：27 人

就労者数：11 人

(イ) 支援調整会議開催状況

支援対象者の支援の方向性を確認し、計画に基づいた支援ができるよう支援調整会議メンバー（社会福祉課、ハローワーク、主任相談支援員、就労支援員兼相談支援員）で毎月 1 回、支援計画の確認や評価を実施しました。

開催頻度：月 1 回、プラン確認件数：70 件、評価件数：63 件

(ウ) 庁内連携会議

関係機関と連携し、円滑な相談支援を行うこと、センターの周知を目的に市役所庁内の関係課との連絡調整、情報交換などを行いました。

a ひきこもり支援チームプロジェクト会議への参加

日 時：4月27日（水）、5月25日（水）、6月22日（水）、7月27日（水）、8月24日（水）、9月28日（水）、10月26日（水）、11月30日（水）、12月21日（水）1月25日（水）、2月22日（水）

場 所：市役所 会議室

内 容：ひきこもり支援に関する勉強会、情報交換、検討会

出席者：西濃圏域発達障がい支援センター、障がい福祉課、高齢福祉課、保健センター、社会福祉課、市社協地域支援チーム、大垣市生活支援相談センター

(エ) 啓発活動

生活困窮者自立支援事業の理解とセンターのPRのため、地域などで行われる各種会議等での事業の説明、センターの機能の周知を行いました。

・中川地区民生児童委員協議会研修への参加

日 時：9月2日（金）

場 所：中川地区センター

・大垣市保健センター研修への参加

日 時：6月22日（水）

場 所：大垣市保健センター

・各地区民生児童委員協議会での啓発

日 時：2月

場 所：各地区定例会会場

(オ) みんなで支え合いバンク（食料支援）の設置

既存の制度では対応できない相談について、地域ボランティアから提供いただいたインスタント食品等を活用し、食料支援として提供し、次の相談や支援に結びつけるため、簡易のフードバンクを実施しました。

新規利用者：73人、継続利用者：101人、総利用者：174人、支援回数：269回

ク 生活福祉資金貸付事業

低所得世帯・障がい者、高齢者世帯等に対し、資金の貸付と必要な相談支援を行いました。

新型コロナウイルス感染症に対応した特例貸付（緊急小口資金、総合支援資金）を含む。

【県社会福祉協議会が実施する貸付事業の窓口相談及び申請業務実績】

	相談実件数	貸付件数	貸付金額
総合支援資金	6件	0件	0円
福祉資金	27件	3件	666,000円
緊急小口資金	97件	31件	2,031,000円
教育支援資金	14件	3件	1,173,000円
不動産担保型資金	1件	0件	0円
臨時特例つなぎ資金	0件	0件	0円

生活復興支援資金	0 件	0 件	0 円
特例貸付：総合支援資金	51 件	46 件	13,781,000 円
特例貸付：緊急小口資金	89 件	84 件	16,600,000 円
合 計	285 件	167 件	34,251,000 円

※特例貸付総合支援資金延長を含む

(2) 障がい者福祉の推進

ア 社会参加促進事業

(ア) 講習会（点訳講習会、音訳講習会、手話奉仕員養成講座）

○各種講習会開催

	開催時期	回数	人数	修了生
点訳講習会	令和4年6月～令和5年1月	全29	7	7
音訳講習会	令和4年6月～令和4年9月	全15	6	6
手話奉仕員養成講座	令和4年4月～令和5年3月	全46	14	14

(イ) 教室（グラウンドゴルフ、フライングディスク、車椅子ダンス等）

○各種スポーツ教室・大会

	開催場所	回数	人数
グラウンドゴルフ教室	総合体育館	21 回	338 人
車いすダンス	総合福祉会館	10 回	71 人
フライングディスク教室	赤坂スポーツ公園	4 回	16 人

イ 意思疎通支援事業

障がい者のコミュニケーション支援を行い、社会参加の促進を図りました。

(ア) 手話通訳者等派遣事業の実施

派遣回数：232 回 延べ時間数：429 時間

(イ) 要約筆記者等派遣事業の実施

派遣回数：23 回 延べ時間数：91 時間

(3) 高齢者福祉の推進

ア 生活支援体制整備事業

介護保険法に基づき生活支援コーディネーターを配置し、高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備の充実を図りました。

(ア) 多職種・他団体との連携

情報発信及び顔の見える関係づくりのため、各包括エリアミーティング等へ参加しました。

・元気にしよう会議 計 5 回

・各包括エリア会議など 計 19 回

・在宅医療・介護連携推進事業 多職種連携会議 計 1 回

(イ) 地域で支え合う仕組みづくりを推進する活動・会議・研修等への参加（各地区）

地域支援ネットワーク委員会、三者合同研修会、支え合いの会例会、いきいきサロ

ン、見守り会議等へ出向き情報発信及び顔の見える関係づくりに努めました。

(実績：21 回)

(ウ) 生活支援活動団体等の関係者のネットワーク構築

① 岐阜県生活支援活動団体情報交換会への参加

岐阜県社会福祉協議会主催による「生活支援活動団体情報交換会（オンライン）」に参加し県下で生活支援を行うボランティア団体と意見交換を行いました。

日 時：12月8日（木）

参加者数：7 団体 20 名

② 市内で活動する生活支援団体、関係事業者等を把握し連携しました。(実績：15 回)

(エ) 生活支援の担い手の養成、サービス開発等の資源開発、マッチング

① 生活支援ボランティア養成講座（ボランティア部会事業と兼ねる）

ボランティアや福祉活動に興味関心がある高校生を対象に、地域課題に実情や地域の支え合い活動について理解を深め、生活支援ボランティアなど、次世代の地域活動の担い手を養成することを目的に実施しました。

実施日：12月15日（木）、12月～1月、1月16日（月）

内 容：1 日目：講義「ボランティア」「SDGs」などについて学ぶ

2 日目：体験「高校生の歳末清掃」「子ども食堂」など

3 日目：グループワーク「自分たちにできる活動」などについて考える

実施校：大垣桜高校 1・2 年生

② 買い物困難者と移動販売車のマッチング

買い物困難者が顕在化している市営和合団地において、以下の通り移動販売事業者とのマッチングを行いました。

日程	内 容
11/22（火）	地域資源の確認、打ち合わせ。
11/29（火）	移動販売打ち合わせ。マッチングに向けた検討会議。
12/12（月）	移動販売打ち合わせ。アンケート検討。
12 月	住民アンケート実施。
12/19（月）	移動販売打ち合わせ。アンケート内容確認。
2/2（木）	移動販売開始。週 1 回木曜日 10 人程度参加。

(オ) 社会福祉法人連携協議会に関する取組み

市内の社会福祉法人 23 法人の加盟による協議会において、公益的な取組の推進及び法人間の顔の見える関係づくり、新たな社会資源としての役割を検討しています。法人間の情報共有連携を目的とした研修・交流会を実施しました。また生活困窮者支援に関する事業（フードサポートボックス事業）を実施し加盟法人にご協力いただきました。

○第 1 回研修・交流会

日 時：7 月 7 日（木）10 時から 12 時（令和 4 年度総会后）

内 容：研修会「社会福祉法人の連携の動向」

講 師 岐阜県社会福祉協議会総務企画部課長 藤吉智子氏

交流会「どうする！？ウィズコロナ」（対面での意見交換会）

○第2回研修・交流会

日 時：3月3日（金）

内 容：講演会「同愛会における法人貢献事業について」

講 師 社会福祉法人同愛会理事長 菊池 月香氏

交流会「分野を超えてつながろう」

○フードサポートボックス事業

開催時期：9月、1月

協力法人：延べ 15 法人 食料寄付数：計 1,243 個

イ 料理教室

事業計画では、料理教室を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大に配慮し、規模を縮小したコーヒー教室に変更しました。コロナ禍で人との関わりや外に出る機会が少なくなった60歳以上の男性を対象に、新たな生きがいの発見や人との繋がりへの構築、気軽な交流の場の提供を目的としました。また、ボランティア活動についても説明し「コーヒーボランティア」として男性のボランティア参加のきっかけづくりを行いました。

開催日 1日目：講義 3月8日（水） 自家焙煎珈琲 長崎屋（墨俣地区）

2日目：体験 3月10日（金） 墨俣デイサービスセンターにて利用者に提供

参加者 4名

（4） 移動支援事業（福祉有償運送事業）

要介護認定において要支援または要介護と認定された60歳以上の在宅の高齢者で、一般の交通機関を利用することが困難な方に対し、移送専用車両により指定の医療機関への送迎サービスを実施しました。

【外出支援サービス利用状況（上石津地域高齢者対応）】

登録者数：65人 実利用者数：20人 利用回数：延べ110回 利用者数：延べ123人

（5） 福祉団体等活動支援事業

ア 民生児童委員協議会の支援

民生児童委員協議会の活動（毎月役員会、定例民協・三部会研修等）に支援し、助成しました。

イ 保護司会の支援

保護司会活動（社会を明るくする運動等）に助成しました。

ウ かがやきクラブ大垣の支援

かがやきクラブ大垣主催の高齢者福祉大会に助成しました。

エ 身体障害者福祉協会大垣支部の支援

身体障害者福祉協会大垣支部が主催する歳末重度障がい者訪問活動に助成しました。

オ 大垣市手をつなぐ親の会の支援

手をつなぐ親の会が主催する特別支援学級卒業生の激励訪問に助成しました。

カ 大垣市母子父子寡婦福祉連合会の支援

大垣市母子父子寡婦福祉連合会が主催する中卒者激励訪問に助成しました。

キ 介護者の会の支援

認知症高齢者等、要支援・要介護者を抱える家族組織である介護者の会の活動を支援しました。

と き：毎月開催（8月休み） 会員数：14人

4 ボランティア部会

(1) 大垣市ボランティア市民活動支援センター運営事業

ア 大垣市ボランティア市民活動支援センター機能の充実

(ア) 相談・斡旋業務の充実

ボランティア団体及び個人に対する相談支援

福祉施設、当事者等のニーズ把握

ボランティア派遣件数 19 件

社協ホームページ上でボランティア団体一覧の閲覧を可能にしました。

(イ) 大垣市ボランティア連絡協議会の支援

役員会の開催 毎月第1木曜日 計12回

各部会の開催

研修会参加

岐阜県ボランティア・市民活動 Web セミナー』へのオンライン参加

	テーマ	開催日	参加者
1	企業の社会貢献活動	8月26日	1人
2	高齢者・障がい者の支援	9月13日	4人
3	ボランティアのための傾聴	12月12日	12人

イ ボランティア登録・活動保険・行事用保険加入の斡旋・器材等の便宜

(ア) ボランティア登録の充実

ボランティア登録数 (団体) 126 団体 (個人) 45 人

(イ) 保険の紹介と斡旋機能の充実強化

各種保険の概要と加入状況

【ボランティア活動保険】

無償で活動するボランティアの活動中におこる様々な事故に備える保険

【ボランティア行事用保険】

社会福祉協議会の構成員や会員である団体や社会福祉協議会などが主催者となり、地域福祉活動やボランティア活動の一環として行う行事における事故に備える保険

【ふれあいサロン保険】

社協が行うふれあいサロン活動中や社協が主催する行事におけるケガに備える保険

【福祉サービス総合補償】

社会福祉協議会をはじめ、その構成員や会員である団体などが行う在宅福祉・地域福祉サービスにおける様々な事故に対する補償

【送迎サービス補償】

社会福祉協議会をはじめ、その構成員や会員であるボランティア、ボランティア団体などが行う移送・送迎サービスにおける傷害事故に対する補償

	ボランティア活動保険	ボランティア行事用保険	ふれあいサロン保険	福祉サービス総合補償	送迎サービス補償
加入者数	3,543 人	11,521 人	7,060 人	2,817 人	340 人
件数	211 件	102 件	69 件	10 件	2 件

ウ 災害ボランティアセンター設置・運営の拡充

(ア) 関係機関との連携の強化

- a 災害時における迅速かつ総合的な支援活動の協力体制の構築を目的に、大垣西ロータリークラブと大垣市の3者において「災害時における協力体制に関する協定」を締結しました。

と き 4月14日(木)

ところ 大垣市役所

- b 大垣青年会議所・2市9町の行政・社会福祉協議会の3者で、平時から顔の見える関係づくりと、災害時の連携を目的に「西美濃防災連絡協議会」へ参加しました。

と き 11月28日(月)

ところ Web会議 Zoom 使用

(イ) 研修の実施

4月28日(木)、5月12日(木)、大垣市社会福祉協議会地域のふくし相談課にて、「災害ボランティアセンターの設置目的や役割等の確認」を実施、3月10日(金)

には、「災害ボランティアセンター立上げ訓練とロールプレイ」を実施しました。

エ ボランティア活動支援

(ア) 使用済み切手収集ボランティア、使用済み切手整理ボランティア活動の支援

収集ボランティア 団体：延べ131団体 個人：延べ160人

整理ボランティア 団体：NTTOBむすびの会 個人：2人

換金 回数：4回 重さ：約89.2kg 金額：33,130円

(イ) コピー機・印刷機の利用支援 (4階ボランティアルームに設置/有料)

コピー機 A4：5円・A3：10円

印刷機 無料(用紙は各自準備)

オ 広報活動事業

- (ア) ボランティア市民活動支援センターマスコットキャラクターあいちゃんの周知ボランティア情報誌、各事業・イベント、ブログでのPRをしました。

(イ) ボランティア情報の発信

ボランティア情報誌『広がれ ボランティアの輪』を9月・12月・2月に発行しました。

(ウ) インターネットの活用

ホームページやブログにて、ボランティア募集情報やボランティアの活動の様子

を紹介しました。

(2) ボランティア育成研修事業

ア 育成研修事業

(ア) 子どもの居場所サポーター養成講座

家庭と学校以外で、子どもが安心して過ごせる「第三の居場所」として学習支援・居場所づくりについて考える機会と、実際の子どもの取り巻く環境の現状を知り、携わることのできる人材育成を目的に開催しました。

開催日 8月19日(金)・8月25日(木)

内 容 1日目：講義「子どもを取り巻く環境と課題」ほか

2日目：見学・体験「みんなの未来をつくる会」

参加者 3人

(イ) 初心者ボランティア講座

ボランティア活動に興味はあるけど、どうしたらいいが分からない、何かしたいけど、あと一歩が踏み出せない、そんな子どもたちのボランティアを始めるきっかけ作りを目的に開催しました。

開催日 ①8月2日(火) ②8月5日(金)

内 容 ①マジック ②バルーン

参加者 ①6人 ②8人

(ウ) 傾聴ボランティア養成講座

傾聴という聴き方を学び、体験学習を通して、傾聴ボランティアの育成、ボランティア活動へのきっかけづくりを目的に開催しました。

開催日 1月20日(金)・27日(金)・2月3日(金)・8日(水)

内 容 1～3日目：傾聴に関する講座

4日目：認知症に関する講座

参加者 19人

(エ) 生活支援ボランティア養成講座(事業運営部会事業と兼ねる)

ボランティアや福祉活動に興味・関心のある高校生を対象に、地域課題の実情や地域の支え合い活動について理解を深め、生活支援ボランティアなど、次世代の地域活動の担い手を養成することを目的に開催しました。

開催日 12月15日(木)・12～1月・1月16日(月)

内 容 1日目：講義「ボランティア」「SDGs」などについて学ぶ

2日目：体験「高校生の歳末清掃」「子ども食堂」など

3日目：グループワーク「自分たちにできる活動」などについて考える

開催校 大垣桜高校 1・2年生

イ ふれあい交流事業

(ア) 福祉ふれあいボランティアフェスティバルの開催

「誰もが住みよい福祉のまちづくり」を目指し、楽しく出会い、ふれあい、集える交流の場として、10月29日(土)・30日(日)総合福祉会館で開催しました。

来場者数 2000人(2日間)

(イ) 高校生清掃活動

高校生ボランティアによる歳末訪問活動として、12月26日(月)に実施しま

した。

参加者 29人 訪問件数 8件

(ウ) 高校生メッセージボランティア

高校生と地域の方との交流を目的としたメッセージボランティアを募集しました。

応募枚数 298枚 学校数 3校(東高校・北高校・清凌高校)

応募メッセージは、食事サービス利用者にお弁当と一緒に届けました。また、原本を複写したものをパネル展示しました。

パネル展開催期間・場所 ※『子どもの意見を聞く会パネル展』と同時開催

①2月 1日(水)～12日(日) アクアウォーク 2階アカデミア前

②2月 17日(金)～28日(火) イオンモール大垣 2階フードコート前

③3月 6日(月)～20日(月) 大垣市役所 1階多目的スペース

④3月 21日(火)～24日(金) 大垣市総合福祉会館 1階ラウンジ

(エ) ボランティア交流会

開催日 3月4日(土)

内 容 ①講演「ふくしのまちづくり～だれもが社会の一員として包み支え合う社会を目指して～」

講師：岐阜羽島ボランティア協会 理事長 兼

特定非営利活動法人ぎふバチドリ基金 理事長 川合 宗次 氏

②ボランティア団体によるパネルディスカッション

参加者 84人

ウ 子育て支援事業

コロナ禍により子どもの居場所が少ない状況の中で、学習支援を通じた子どもの居場所づくりや暮らしのためになることを学習・体験しました。

(ア) わくわくサマースクール

開催日 8月9日(火)

内 容 夏休みの宿題、バランスボールで跳ねて弾んで！楽しく SDGs を学ぶ

参加者 9人(市内小学1～6年生)

わくわくウィンタースクール

開催日 2月25日(土)

内 容 宿題、災害時にも役立つパン作りの講座を通して、防災について学ぶ

参加者 9人(市内小学1～6年生)

(イ) 子育て応援事業

児童扶養手当受給世帯等を対象に、ホテルの料理やマジックショーを楽しんでいただく催し「ホテルの美味しいカツカレーを食べよう」を実施しました。

開催日 12月17日(土)

会 場 大垣フォーラムホテル

参加者 107世帯 284人

共 催 大垣東ライオンズクラブ

(3) 福祉教育推進事業

ア 福祉教育協力校指定事業

(ア) 市社協福祉協力校の指定

児童・生徒に「福祉の心」を育てることを目的に、市内の保育園・幼保園・幼稚園・小・中・高等学校を福祉協力校に指定しました。

保育園・幼稚園	1園1万円	継続：35園／40園
小・中学校	1校2万円	継続：32校／32校
高等学校	1校2万円	新規：1校（西濃高等特別支援学校） 継続：8校／9校

(イ) 福祉協力校援助事業

a 福祉教育メニュー一覧の作成

- ・メニュー一覧を作成し、2月16日（木）の福祉協力校連絡会で配布しました。

b 講演会、研修会への講師派遣や紹介

c 体験学習への協力、体験グッズ貸し出し

(ウ) 福祉協力校研修事業

a 福祉協力校連絡会の開催

福祉教育への理解と、情報共有を図るため、各学校の福祉教育担当教諭を対象に実施しました。

開催日 2月16日（木）

内 容 福祉講話「ヘルプマークで目指す社会」

タレント・ライフスピーカー・モデル 塚本明里氏

イ 子どもの意見を聞く会

事業計画では、市内小学校の子どもたちが、社会福祉について、日ごろ考えていることや実践していることを作文にし発表する形式でしたが、新型コロナウイルス感染拡大に配慮し、文集の作成とパネル展の開催に変更しました。

対象校 興文小・西小・北小・安井小・静里小・江東小

中川小・荒崎小・青墓小・牧田小・多良小 計11校

パネル展では、作文と学校の雰囲気が伝わる写真を展示しました。

パネル展開催期間・場所 ※『高校生メッセージパネル展』と同時開催

①2月 1日（水）～12日（日）アクアウォーク2階アカデミア前

②2月17日（金）～28日（火）イオンモール大垣2階フードコート前

③3月 6日（月）～20日（月）大垣市役所1階多目的スペース

④3月21日（火）～24日（金）大垣市総合福祉会館1階ラウンジ

ウ 福祉教育 市社協啓発パンフレット

小学生、中学生を対象にした福祉教育に活用する、市社協啓発パンフレットを500部作成しました。